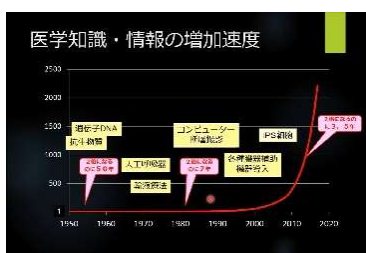


2023年度チャレンジ講座(第4回)を実施しました

7月5日(水曜日)、第4回(理系第2回)チャレンジ講座を実施しました。

今回は、津村弘・大分大学理事より、「大分大学の医学部の概要と医師養成の体系について～医学の学習『膝関節疾患を例に』～」と題して講義をしていただきました。



津村先生は、はじめに医療を取り巻く状況に大きな変革の流れが生じていることを挙げ、そのような流れに対応するため、医療関係の進路を目指す生徒に対して、学び続けることの重要性を説明されました。さらに、医療人として働く者の責任や心構えなど、先生の長いキャリアに基づく貴重な話をしていただきました。医師として磨かなければならない資質である「人格の涵養」には非常に時間がかかることや、患者の治療に対して献身的に臨むことは大切であるが、感情移入しすぎることは危険で、気持ちをコントロールして患者と向き合う必要性などを説明されました。



続いて、津村先生のご専門である膝関節の治療について、3D映像なども交えての詳細な解説をされました。骨・関節・人工関節・筋肉の構造、筋電図やモーションピクチャーによる歩行姿勢のチェック、関節にかかる荷重の変化など、診断や治療にあたって習得すべき知識や技術の話をされました。

膝関節が様々な組織から成り立っており、その一つ一つに細かな役割があることや、関節の治療においてもIT技術の進歩により学際的なアプローチが進んでいると説明されました。さらに、膝関節にかかる力を測定するなどの例を挙げ、バイオメカニクスなど工学系と連携した治療技術が採用されていると説明されました。最後に実際の人工膝関節置換術の様子について映像を用いて分かりやすく解説していただきました。



今回は、22校から291名の高校生が受講しました。事後のアンケートでは、「大分大学が先行している診療科について知ることができ、自分が医学部に行って何を学んでいきたいかについての参考になりました」、「普段あまり見ることでできない動画や沢山の情報教えていただけたし、また推薦入試など面接で活用できそうな情報も沢山あって有意義な時間を過ごせたと思いました」、「実際に話を聞けて、面白かったし、医学をもっと学びたいと強く感じました。大分大学の魅力も知ることができてよかったです」等の回答が寄せられました。